
ロックフォルダ

たっば

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ロックフォルダ

【Nコード】

N7650E

【作者名】

たっぱ

【あらすじ】

俺と彼女のゆるゆるでなんとなくなーくな空間

「ねえ、ナオくん」

俺がテレビのペット特集に釘付けになっていると、肩に寄り添っている麻紀奈が俺を呼んだ。

「このロックフォルダって何が入ってるの？」

「なんだよ…っておい！ なにヒトのケータイ勝手にいじってるだよ！」

麻紀奈は俺のケータイを自分のケータイのように扱っていた。俺の許可なしに、しかも俺の真横で。
てか俺も気づけよ。

「きゃっ」

彼女の手からケータイを奪いとる。

「他人のケータイは勝手に見るものじゃありません」

「私彼女だよ？」

「彼女でもダメなの」

「ナオくんのこと好きでも？」

「オレが麻紀奈のこと好きだからダメ」

「うにゃー」

猫のような声をだしながら麻紀奈が俺に覆い被さってくる。

俺は力を加減しつつ背中から床に倒れこんだ。

「よくそんな恥ずかしいこと言えるねナオくんは」

「先に言い出したの麻紀奈だろ」

「んーそかも」

そういつて悪戯っぽく笑う。

俺も笑って、麻紀奈の頭に手をのせる。そしてゆっくりと撫でた。

「んーやつぱりナオくんのいい子いい子は気持ちいい」

「そーだろそーだろ」

よく考えたら、いいことどころ悪いことをしたような気もするけど気にしない。

いつもこんな感じ。ゆるゆるで、何かあっても二人ともなんとなくに対処してなんとなくお開きになる。

そんな麻紀奈との空間が俺には心地よかった。

あれだ、ゆるゆる菌（麻紀奈命名）が俺にも感染してしまったのだらう。

「だからヒトのケータイは勝手に見るなよ」

「はい」

「てかなんで今更ケータイなんか見てんだ？」

聞くと麻紀奈は小首を傾げた。

「んー、浮気調査はしてみた方がいいですよって、カナさんが言ってたから」

「カナさんって誰？」

「おはようテレビの人」

俺は何も言わずに優しくぺしっとデコピンした。

「うー本当に言ってたんだもん」

「わかったわかった。でも俺は浮気なんかしてなかったろ」

「うん、メールも電話も全部私だった」

「麻紀奈はカナさんに騙されて、ムダな時間を使ってしまっただけなのでしたー」。

…おっ、この猫かわいいな」

そう言っただけで俺がまたペット特集を見ようとすると、麻紀奈がピタリと俺のお腹にへばりついた。

「あの、起き上がれないんだけど」

「起き上がらなくていい」

「どーして？」

「私を心配させたからぎゅーってして」

彼女の甘えた表情にドキツとして、ちょっと深呼吸して、背中に腕を回した。

「てか心配させたのカナさんのせいじゃない？」

「それでもお」

「はいはい」

そして腕の中の麻紀奈を強く、優しく、ぎゅーってした。

「もう心配させないでね」

「もう勝手に心配しないでください」

二人とも笑った。
腕の中の彼女は温かくて、とてもとても愛おしかった。
ゆるゆるで、なんとなく空間がまあるくなっていく。
大体そんな感じ。
俺はそんな空間が好きだ。
そして麻紀奈が大好きだ。

「あ、そういえばナオくん」

「なに？」

「ロックフォルダの中、何が入ってるの？」

「……男のロマンさっ」

彼女はきょとんと少し考えて、あっ、と小さく叫んで、頬を染めながら俺の胸に顔をうずめた。

そして少しだけ顔を上げて上目遣いに言った。

「ナオくんのえっち」

また俺はぎゅーってしてしまった。

(後書き)

なんか妄想です、すみません。

そして読んでくださってありがとうございますでした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7650e/>

ロックフォルダ

2011年1月19日23時42分発行